

令和8年度 獨協医科大学大学院医学研究科入学者選抜試験（2次募集）
外国語（英語）試験

【問題1】

・意図

問1から問4までのいずれも、臨床医学の英文症例報告を用いた読解力を評価するものである。専門知識そのものを問うのではなく、英語の構文・論理展開の把握力を評価対象とする。辞書の持ち込みが認められているため、語彙力ではなく、英文を論理的に読み解く力や、科学的文脈を理解する力に重点を置いている。

・解答

〔設問1〕

病変が左右不均一な症例では、悪い側に移植することが通常適しているが、どちらの側かを指定して待機することは肺移植の機会を失うかもしれない。反対に、利用可能な肺が適していない側のものであっても、どちらの側の肺でも提供されることによって、早期に肺移植の機会が得られる。

〔設問2〕

登録11ヶ月後に肺移植の機会が訪れた。優先順位の高いレシピエントが左肺を取り、今回の症例が右肺をもらうことになったので、右から左への反転肺移植術を行った。

〔設問3〕

右肺はレシピエントの左胸腔に、上下軸を中心に180度本来の解剖学的な位置から回して置かれた。

〔設問4〕

反転肺移植は、病変に左右差がある症例の片肺移植においてより多くの機会をもたらす。この報告は知る限り初めての右から左への反転片肺移植の報告である。しかし、Couetilらは以前、左から右への反転肺移植の報告をしている。

【問題 2】

・意図

〔設問 1〕

論文の discussion では、結果の要約→従来の報告との比較からみた論文の新奇性の説明→議論の対象となる問題点への言及→結論と今後の研究への展望、といった流れで議論が展開される。今回の出題では結果の部分は提示していないが、示されていた（であろう）結果を類推しながら議論の内容を正確に把握できているかを問うことを目的とした。

第 4 パラグラフの内容を要約できれば、解答は容易である。

〔設問 2〕

論文の discussion では、結果の要約→従来の報告との比較からみた論文の新奇性の説明→議論の対象となる問題点への言及→結論と今後の研究への展望、といった流れで議論が展開される。今回の出題では結果の部分は提示していないが、示されていた（であろう）結果を類推しながら議論の内容を正確に把握できているかを問うことを目的とした。

いくつかのパラグラフに解答が示されており、それをまとめる必要がある。

・解答

〔設問 1〕

利 点：

- ・地域住民レベルの評価に用いるのには最適な指標とされている。
- ・BMI は健康上の有害な結果、すなわち全死亡、心血管系疾患、糖尿病、癌関連死亡、また生活の質の低下に有意に相関することが示されている。
- ・簡単に算出できる指標であり、従来から用いられてきたことから、時間的・空間的にデータを集積、比較しやすい。

問題点：

- ・脂肪量や体組成を直接測定しているわけではなく、そのため脂肪組織あるいは筋組織の量あるいは分布を不正確に評価する可能性がある。またその外れの程度も母集団によって異なることが示されている。

〔設問 2〕

高度肥満の頻度は州により大きく異なり、特に南部諸州で今後進行することが懸念されている。これは主に健康状態の不均衡の結果であり、複雑かつ多くの要素が関与しているが、その要素としては人種や民族、不安定な食事環境、健康的な食料品へのアクセスの差、社会経済的損失、周辺環境からの分断や住宅環境による健康的な身体運動へのアクセスの不平等、などが挙げられる。実際、肥満の頻度の差異は、健康的な活動の普及や、不健康な食生活との関連から説明することが可能である。